

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！TEL
03-
5950-177124期 実習棟 いよいよ上棟へ
建築カレッジ独自の教育実践

部材の墨付けの指導を受ける研修生（11月30日）

1月22日（水）学校説明会

第25期生（2020年4月入学生）応募予定（検討）者のための第3回学校説明会を1月22日（水）に行います。昼の部は午後2時から、夜の部は午後7時から。所要時間は1時間30分程度、会場は池袋校舎。参加希望の方はご連絡ください。

2月5日（水）が第3回入学選考会です。この試験を受けるには1月30日（木）までに入学願書など一式を提出しなければなりません。

『建方・上棟実習』見学会

1月24日（金）・25日（土）
見学可能時間帯：
午前10時～午後4時
場所：東京建築カレッジ
江東実習場

東京建築カレッジの教育の独自性を一番アピールしているのが、1年次の「実習棟実習」です。研修生は図面の読み方、墨付け、継手・仕口の基本を習得した後に、手刻みで、木造軸組み構法の2階建て住宅一棟を建てます。1階部分は金物を使わない伝統構法です。自分たちが建てた実習棟で構造実験も行います。

今年度は1月24日（金）、25日（土）に上棟の予定です。安全第一で作業します。見学希望の方は事前

前にご連絡ください。場所は江東実習場です。
上棟を前にして

24期 新田 宰士

いよいよ実習棟の上棟が目前に近づいて来ました。ワクワクした気持ちが抑えられません。継手・仕口練習の集大成となる実習課題「カレッジフレーム」を完成させた時のことを思い出します。

あれから4ヶ月経過し、11月1日から実習棟を建てるための木造工作実習が始まりました。私は、事前に取り組んだ板図の製図も遅くまで残って頑張っていたのですが、時間が経ってしまいが、当日の朝、ようやく合格をもらい間に合いました。小屋組み班、柱班、土台班の3班に分かれましたが、私は山田幸延先生の指導のもと柱班に配属されました。墨付けから始まり、継手を作るために加工していく作業は、これまでの学習が活かされています。やるべき仕事を指示されて、それぞ



学校の公式サイトを
リニューアルしました

れの持ち場で、チームワークで進めていく中に自分を感じます。おかしな点を見つけると指摘してくれる学友や体系的なプログラムで短期間にここまで指導していただいた先生方には感謝の言葉しかありません。無事完成することを祈っています。
(1月5日)

真はトップページのスライドショーの1枚。「大工技術を通して建築の基本を学ぶことは、すべての職種にとって特別な意義がある」という教育ポリシーを強調するため、この写真を選びました。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・システム）も活用し、東京建築カレッジの存在意義と魅力の発信を強めます。

新年から、学校の公式ウェブサイト（ホームページ）を刷新しました！見やすさとデザイン性の双方を向上させました。学校紹介パンフレットなど各種宣伝物の統一も図りました。右上写

技能照査と卒業制作

2年生の授業から



技能照査試験は卒業（修了）試験の位置付けで、東京都立ち合いの下、厳正に実施します。上写真は、12月21日の授業の様子。

2年生（第23期生）は、1月18日（土）19日（日）の「技能照査・実技試験」の課題「化粧棒隔木」の練習に一生懸命です。年末年始に自主練習に励んだ人もいます。数学を建築の実践に落とし込んだ「規矩（きく）術」の理解度

を問う試験で、2月上旬に実施する学科試験と併せて卒業（修了）試験に位置付けています。一方、3月8日（日）の発表会に向けて「卒業制作」も大詰めです。12月28日（土）には卒業制作発表会が行われました。今年「施主にやさしいプレゼンテーション」班、「コン



「ゾム・ドーム」の模型を披露するホセさん

テナハウス」班、「ゾム・ドーム」班、「すべり台・ブランコ」班、「屋台」班、「反り橋」班、「船頭小屋」班の7班に分かれて、各自の自主研究テーマの具現化に挑戦します。

スウェーデン式の地盤調査も体験



12月1日（日）建物見学

1年生（第24期生）は12月1日（日）、「建物見学」と題した特別授業を行いました。講師・指導員や卒業生の手掛ける物件の現場

見学を通して、建築の奥深い魅力を実感する授業です。

午前中は、元事務局長Tさんのお住まいを橋本英夫

教務運営委員のガイドで訪ねました。施主のこだわりで、室内空間を無垢の木のぬくもりをたっぷり感じられるようにしています。施



工した大工さんから「合板を極力使わないで作った。普通の家の3倍気を使った」と言われたそうです。断熱性能と吸音性に優れているスギ材の長所も感じることができました（＝写真）。

午後は、長野智雄講師が設計、本校への研修生派遣事業主（守屋工務店）が施工したブックカフェ兼用住宅を見学しました。伝統的民家に見られる置屋根のノウハウを取り入れて高蓄熱高調湿空間の実現を目指しています。「省エネ＝高気密高断熱」の路線とは違う、環境にやさしい住宅設計の先進事例です。研修生は細部まで熱心に注目していました。

ミニ企業面接会

本校は、所属事業所未定の入学希望者に就職先のあっせんを行なっています。

1月21日（火）には4月入学予定者対象の第1回合同企業面接会を開催します。求職者3人と、東京建築カレッジ無料職業紹介所の登録事業主のうち7社の面談が行われます。

登録事業主は本校の教育を社員教育制度に位置付け、学費の全額を事業主が負担します。新規入職者が安心して希望を持って働ける職場環境の実現をめざしています。

ミニ公開講座

東京建築カレッジは市民にひらかれた学校をめざし、住まいと建築のあり方を、市民と建築に携わる業界人が共に学び考えあう連続講座を実施

ミニニュース

施しています。今年度は、身近な困りごとや、環境問題や安全・安心の町づくり、増え続ける空き家の問題などについて、東京建築カレッジ講師陣が楽しくわかりやすく解説します。参加無料。

2月14日（金）

「音と住まいの話。ひと工夫で快適な住居を」

長谷部浩講師
一級建築士

2月28日（金）

「リノベーション最前線・空き家の活用 夢が見える事例紹介」（仮タイトル）

執行香織講師
不動産コンサルタント

3月13日（金）

「増え続ける空き家をどうする！豊島区の現状と対策（仮）」

広瀬達雄講師
一級建築士

各回共に会場は池袋校舎。午後7時から。